



Information_5



身を震わせるような寒さも去り、初夏の陽気が増えてきましたね。

今回は医療から離れ、北の地に住む野鳥 **シマエナガ** と、人々の環境の変化や住処の事情から一時絶滅したと言われる **タンチョウヅル** についてのお話です。

シマエナガ



分布：ユーラシア大陸、ヨーロッパから中央アジア。

日本では北海道で見られ、溜鳥、漂鳥として生息。

体長：14 cm (12.5~14.5cm)

体重：5.5~9.5 g

尾羽を抜いた体の大きさはスズメより小さい小型の野鳥です。

(スズメは体長24 cm)

食事：小さな昆虫類、幼虫、クモが主食。特にアブラムシを好み、草の種子、木の実なども食べる。樹皮から染み出る樹液を吸うこともあります。



北国に生息し、真白で小さく愛らしい見た目から **雪の妖精** と呼ばれています。また、繁殖時に袋状の精巧な巣を作ることから **巧婦鳥** と呼ばれることもあります。雛が巣立ちする確率が低く、それは悪天候、カラスやイタチ、蛇、猛禽類による捕食が原因です。

タンチョウヅル(丹頂鶴)



分布：ロシア南東部、中国、韓国、朝鮮。

日本では北海道南部に生息。

体長：125~152 cm

体重：6~12 kg

食事：雑食。昆虫、幼虫、エビ類、カニ類などの甲殻類、カタツムリ類、タニシ類などの貝類。ドジョウ類、鯉、ヤチウグイ、ヌマガレイなどの魚類。エゾアカガエルなどのカエル。アオジ、コヨシキリなどの鳥類の雛。ヤチネズミ類などの哺乳類。セリ、ハコベなどの葉、アシ、スゲ、フキの芽、スギナの茎、フトモモ、ミズナラなどの果実なども食べます。



☆鶴一口雑学☆

- ・鶴は**一夫一妻制**です。1、2個の卵を産み雄雌交代で抱卵（体で卵を覆い温める行動）卵が孵化してらから雛が飛び立てるようになるまで雌雄が協力するので**子育てを一所懸命にする鳥**と言われています。
- ・明治時代の日本には狩猟規制がなく、開拓者が北海道に上陸した際に鶴が乱獲されたため20~30年の間で一度その姿を消しました。保護団体などの活動により現在その数は800羽まで増えたと言われています。

